

愛隣館研修センターニュース 第68号

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 2F TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail : airinday@sunny.ocn.ne.jp 振替 01020-5-39321

編集発行所：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者：平田 義

「障害者自立支援法」本格実施！緊急座談会！

ほんまに、
大変なんですわ



- A : 「委託された認定調査も10月で終わりましたね！」
- B : 「べ切前の追い上げはすごかった！
しかし、あの調査項目や特記事項だけでその人の障がい程度が正しく反映されるのか？と常に疑問やったわ」
- C : 「ほんまやわ。区分結果もかなり気になる人も多かったなあ〜」
- D : 「そもそも、障がい程度区分認定なんているんかいな！国が勝手に基準設けてサービスの利用を抑えようとしてるんミエミエやんか！」

…と、実際に認定調査も行い、制度の矛盾を感じている相談員同士、自立支援法について語ってもらいました…

緊急時にサービス開始できない!?

- A : 「10月から自立支援法が全面施行されましたがどないですか？」
- B : 「『どないやねん！』と思ったケースがあったわ。これまで支給決定を受けていなかった人が、家族の入院のため緊急に支援が必要となったので市に問い合わせたら『区分認定が出るまでは支援を受けられない』と言われてん。
これまではケースワーカーの裁量で早急に判断してくれてたのに。区分結果が1日2日で、でるわけやない。調査や審査会等があつて時間がかかってしまう。『その間、その人の生活はどうなるねん(怒)！』と叫んだわ！」
- A : 「緊急時にすぐにサービスが開始できないというのは大きな問題やな！」

障がい程度区分という障壁…

- D : 「その人の生活を支えるためのサービスが区分認定に関係なく速やかに利用できんとアカンやろ！」
- C : 「あと問題なのは、区分によって支給量の基準が決められてるってことや！
基準以上の支給量を求めるときは、審査会を通さないと支給してもらえへん。
これも時間かかるわな！」
- B : 「それに、区分によって利用できるサービスが決められるんも問題や！」

- C : 「そうそう！生活介護事業の利用者は、区分3以上でるかヒヤヒヤしてはったもんな。」
- D : 「ついこの前まで障がい者福祉の基本理念は“自己選択/自己決定”やうてたのに、どこが“自己選択/自己決定”なんや！」
- E : 「そのとおり！それに施設の報酬単価が障がい程度区分によって決められるやん。利用者にとつたら報酬単価の高い施設を利用したらそれだけ自己負担も増えるってしくみや。」
- A : 「障がいをもつ当事者やその家族にとって不安が増大するばかりやね！」

「自立」の本来の意味は何処へ…???

- B : 「自立支援法の『自立』の意味は何なんや？
2002年に「障害者基本法」から削除されたはずの、「社会経済活動」に参加できることが『自立』やとゆうてるみたいやん！
障がい者にとっての『自立』とはその人らしく主体的に生きることが『自立』とちゃうん！」

決意新たに!!!

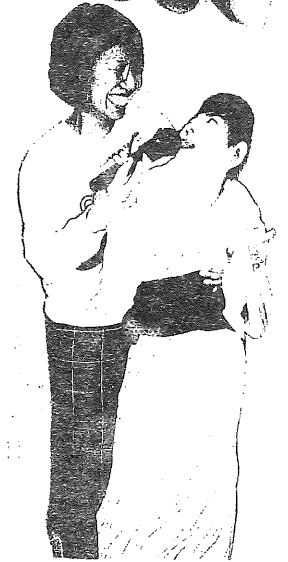
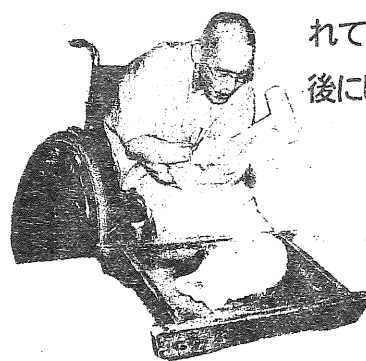
- E : 「ほんま、色んな問題が山積みやけど、ここで話したことをしっかり声としてあげていくことが必要やな〜」
- B : 「確かに……。支援センターとして、できることは何かを考えていかへんと。まずは、この制度の問題点を切実に行政へ訴えていくこと！
そして、制度に関わらず障がいをもつ人たちが地域でその人らしく生活できるようにサポートしていくこと。
その上で、変えていかなければならないことはしっかり伝えていかないと。これからも、それを忘れないようにやっていこうや！」
- A : 「制度に順応していくのではなく、障がいを持つ人たちやその家族の声や思いに対して常に寄り添い、一人ひとりを大切に
する社会に変えていこうとすることを目指していきましょう！」

(文責: あいりん相談員一同 平田・太田・佐藤・鯨島・岩本)



1泊旅行に行ってきました!!(シサム10/13-14 デイ10/25-26)

1日目は、名古屋中部空港『セントレア』へ!!空港内にある巨大陶板を造った、吉川正道氏にお会いしてお話を聞いたり、『愛・地球博』にも登場したあの近未来マシンにも乗せてもらったりしました。宿泊は地元でも有名な高級ホテル『源氏香』。展望大浴場で夕日を眺めながらゆっくりとお風呂に入った後は、お待たせしました『大宴会』!!『鯛の塩釜』や『伊勢海老の大盃』まで頂いて(どれもおいしいと好評でした)、呑めや歌えやの大騒ぎ!!(ホテルの仲居さんは少々引き気味?!) 寝不足のまま豪華な朝ごはんを食べて、いざ『名古屋港水族館』へ。イルカのショーには「かわいい〜!!!すご〜い!!!」と皆さん感動、(オルカに海水を浴びせられていた人もいましたね…) お土産もいっぱい買って、名古屋を後にしたのでした…(次はどこに行くのだがや〜?!)



■ 2006年7-12月の行事報告 ■

- 7/17 黛共子さんと野島正光さん Happy Wedding!
- 7/23 SIEA 開校式(第28回)研修生がインドへ
- 8/12-13 向島伝道所CSキャンプ
- 8/15-16,18-19 『遊隣』キャンプ in 琵琶湖トリートメントセンター
- 9/11,12,13,15 BBQ in 愛隣館
- 9/16-17 SIEA 釜ヶ崎セミナー(総勢10名で!)
- 9/27 愛隣館職員研修会
本田哲郎さんをお招きし、私たちの基本理念を再確認しました
- 10/13-14 デイブ・シサム一泊旅行 名古屋セントレア空港第1弾!
- 10/25-26 デイブ・シサム一泊旅行 名古屋セントレア空港第2弾!
- 11/19 向島にっこりフェスティバル!
皆様のご協力に感謝!
- 11/29 川上盾さん
「命のうた」コンサート→
- 12/10 柏木正行さん納骨式&偲ぶ会



障がい児・者ホームヘルプ事業「ゆうりん」

ヘルパー募集しています!

資格: ヘルパー2級以上・介護福祉士他
勤務: 週1・2回~定期的に来られる方
土・日來られる方歓迎
内容: 外出支援・居宅介護・移動支援
(入浴介助・食事介助・家事援助など)

元気で明るい方お待ちしております!

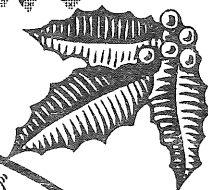
TEL: 075-612-6165(担当: 丸山)

アジア国際夏期学校 (SIEA)

タイセミナーご案内

期間 2007年2月22日(木)~3月1日(木) (※日本到着は3/2日早朝)
参加費 13~14万円 (往復航空運賃、滞在費、現地コーディネーター・通訳者謝礼、カバ等)
少数山岳民族カレンの村やバーンサバイ(フィンイ)・SEPOM(フィンイ)等訪問予定
少数山岳民族の方々との出会いや、現地でHIV/AIDSの課題に取り組むNGOの方々との交流を通してアジアの中の日本を見つめなおし、学びと気づきの機会になればと願っております。
075-621-3849 もしくは siea@abelia.ocn.ne.jp までお問い合わせ下さい(担当: 辻)

クリスマス献金のお願い



当センターが、この向島の地に誕生してから、早くも27年が経過しようとしています。今日まで、皆様方のご理解とご支援によって支えられ、活動を続けることが出来ましたこと、心より感謝します。

稀代の悪法「障害者自立支援法」がこの4月より施行されています。これまでの障がい者福祉の流れに逆行する「障害者自立支援法」により、「障がい」を持つ人たちの地域生活が脅かされる現実に直面しております。支援を必要としている人が、支援を受けることによって、定率の負担を強いられ、その徴収を各事業所が行うことになり、「利用者」と「事業者」がややもすれば対峙するような関係になりかねません。

今の政府が推し進める「骨太の改革＝社会保障費の削減」が、障がい者とその家族、またそこに関わる人々を苦しめています。私たちは、制度がどのように変化しようとも、障がいを持つ人のみならず、すべての人が大事にされる社会を目指して歩んでいきたいと願っております。

これまでも皆様方には多額の献金をして頂いているにもかかわらず、新たなお願いをさせて頂くのは、誠に恐縮ですが、今年度も「愛隣館研修センター・クリスマス献金」にご協力頂きますよう、改めてお願いを申し上げます。次第でございます。

クリスマス献金、目標金額

3, 000, 000 円 ※口数、金額ともに任意です。

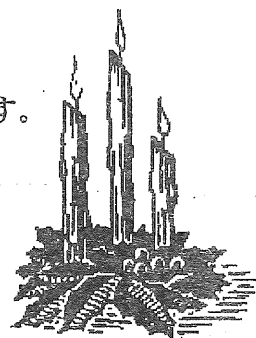
送金方法

※ 以下の口座をご利用ください。

郵便振替

01020-5-39321

口座名：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター



☆お知らせ☆
 ▼愛隣館研修センターは、十二月二十九日～一月四日まで冬期休館日とさせていただきます。
 ▼二月十九日(月)に伏見区役所深草支所にて、「障がい者の地域生活を考える」地域学習会が行われます。講師は廣瀬明彦さんです。詳しくは支援センターあいらんまでお問い合わせください。

★編集後記★
 ▼「68号・冬号」完成！今号より柏木正行さんの詩を連続して掲載することとなりました。柏木さんの言葉に生きつづけているエネルギーを分かち合いたいと思います。(さ)

★所長より★
 ▼「障害者自立支援法」がこの十月より本格実施いたしました。直前まで情報が錯綜し未だに混乱は続いています。何のためにこんな法律を押しつけてくるのか。先日は生活保護費の母子加算を廃止するという新聞記事。四百億円の社会保障費が削減できるとの報。ここまで露骨に弱者切捨てが行われて黙っているわけにはいけません。教育基本法も改悪される。防衛庁も防衛省に。沖繩知事選は基地問題より経済問題で決着。これからは日本がどのような国になるのか。子どもたちの命を守るために。大人たちが立ち上がらなければ。GET UP STAND UP! DON'T GIVE UP THE FIGHT! (5)